ナイスの視線で、日常の楽しみをお届けする、西成発の地域情報誌 2024

Take free!

なび

4月号
vol. 206

にしなりの街角・街並み
「久金属工業株式会社」
北津守3丁目8の31

特集

おとなの社会科

第15講 歴史 ── 靴団地の向こう

おとなの社会科

第15講 歴史 —— 靴団地の向こう

昔、使った教科書をパラパラめくってみると、あの頃には気づけなかった面白さがみえてきた——そんな経験はないだろうか。学校の教科書は昔と同じではない。だから、大人になってからの学び直しも決してムダではないはず。学校に通ってた頃を思い出して、もう一度、目の前に広がる社会を学び直してみませんか。

『皮革季鑑 昭和43年版』の書影と本書に掲載されている企業広告

『皮革季鑑』を手がかりに

西成区内にかつてあった「靴団地」を記事にしてから早一年が経った(本誌195号)。残念ながら、以後の調査が思うように捗らなかったことを告白しなければならない。しかしこのまま埋もれてしまうのはもったいないので、この機に以前から気になっていた作業を行うことにした。

前回も参照した『皮革季鑑 昭和四十三年版』(以下、『季鑑』)には、革靴業界を含む皮革関連業界の企業情報が掲載されている。そこで、対象を皮革関連業に広げ、さらに西成区の北に隣接する浪速区にまで範囲を広げ、「靴団地」を取り巻く地域・業界事情を読み取ってみた。残念ながら浪速区の地図は入手していないので地図との照合ができていない。

『季鑑』は日本全国の皮革関連業者を16項目に分類している。今回はそのうち「皮革販売業者」「靴の製造並びに卸売業者」「染革・型押・漉割並びに計量業者」「靴小売業者」に分類されている浪速区・西成区の業者をピックアップした。ピックアップした業者の総数は、浪速区が201社、西成区が184社である。区ごとに分布の特徴を読み取ってみよう。

大国町界隈とその周囲

表1は浪速区の靴皮革関連業者の軒数を町ごとに集計したものである。一目見てわかるように、大国町に146社(72・6%)と著しい集積が認められる。国道26号を挟んだ東隣の戎本町はこれに次ぐ18社(9%)、現敷津西に相当する鴎町・勘助町・敷津に9社(合わせて5%)。これらを合わせるとじつに86・6%という割合の高さになる。

業種の内訳をみると、皮革販売業者が大国町123社、戎本町15社、敷津6社、鴎町・勘助町がそれぞれ1社。靴製造・卸売業者が大国町18社、戎本町3社、敷津1社。染革・型押・漉割・計量などの皮革加工業者が大国町に5社、靴小売業者が鴎町に1社ある。皮革販売業者の数が圧倒的である。

それにしても、なぜこれほどまでに大国町に皮革卸業者が集積しているのだろうか。この界隈は大空襲を受けて劇的な変化を被っているはずであるが、その歴史的な経緯の解明については宿題にしておきたい。

それに対して、これら大国町界隈の東に位置する日本橋筋・恵美須町には靴製造・卸売業者が2

表1　靴皮革関連業者の分布(浪速区)

町名	業種				計	
	皮革販売	靴製造卸	染革・型押・漉割・計量	靴小売		
日本橋筋		1		1	2	1.0%
恵美須町		1			1	0.5%
水崎				2	2	1.0%
戎本町	15	3			18	8.9%
大国町	123	18	5		146	72.3%
鴎町	1			1	2	1.0%
勘助町	1				1	0.5%
敷津	6	1			7	3.5%
浪速西・浪速町西		1	6		7	3.5%
浪速東・浪速町東	1	1	2		4	2.0%
久保吉町・久保町	1		1		2	1.0%
西浜南通			1		1	0.5%
栄			1	1	2	1.0%
船出町	1			1	2	1.0%
新川	1			1	2	1.0%
蔵跡南之町		1			1	0.5%
戎橋筋				1	1	0.5%
その他	1				1	0.5%
計	151 74.8%	27 13.4%	16 7.9%	8 4.0%	202 100.0%	

出典:『皮革季鑑 昭和43年版』
「戎橋筋」は現在中央区であるが、『季鑑』の記載にしたがった。

社、北に位置する船出町・新川・蔵跡南之町（現ＪＲ難波駅界隈）には合わせて３社しかない。北と東の広がりはほぼこのあたりまでと捉えてよいだろう。また、大国町界隈では見かけない靴小売業者が、水崎や戎橋筋を含めて一定程度存在することにも留意しておきたい。

他方、西方（浪速東・西・久保吉町・西浜南通・栄）の分布は興味深い傾向を示している。現在のＪＲ大阪環状線芦原橋駅付近を北端とし、そこから環状線の西南に広がっていく地域である。皮革販売業者と靴製造・卸売業者、靴小売業者がわずか（５社）にあるが、皮革加工業者（染革・型押・漉割・計量）が合計で10社ある。軒数そのものを云々することはできないが、皮革加工業者の存在感は無視できない。大国町界隈や先の東方・北方との対照性が際立っているからである。このちがいは地域の歴史の現れではないか。さらに南進していくと、西成区の北開・中開・南開・出城・長橋といった地域に至るのだが、この点については後述することにしたい。

南方へのベクトル

西成区に関心を移してみよう（表２）。前回でも触れたように、西成には主に靴卸売業者が集まっている「靴団地」と国道26号から入った鶴見橋商店街の一区画が中核を成している。浪速区と比較すると、靴製造・卸売が卓越しているは言え、これら２つの中核には皮革販売業者も一定程度あり、商店街では後者の方が多い。

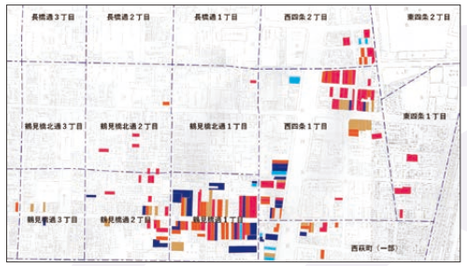
また、浪速区における大国町への圧倒的な集中に対し、西成の靴製造・卸売業者は鶴見橋商店街以南の町（旭北・南・西今船・梅通・梅南通・松通・橘通・桜通・汐路通・西皿池）に延々と分布していることがわかる（24軒、16・8％）。

西成の分布についてもう一つ注目したいのが、鶴見橋商店街以北の北開・中開・南開・出城・長橋である。靴製造・卸売業者とともに、皮革加工業者の存在が注意を引く。合計で７社とやはり軒数は多くはないものの、前項で指摘した浪速区との連続性を感じさせる。

表２　靴皮革関連業者の分布（西成区）

町名	業種				計	
	皮革販売	靴製造卸	染革・型押・漉割・計量	靴小売		
東四条		5			5	2.7%
西四条	11	35	1	1	48	26.1%
西萩町	2	3		1	6	3.3%
萩町	1				1	0.5%
西今船		1			1	0.5%
北開			1		1	0.5%
中開		3	2		5	2.7%
南開		3	2		5	2.7%
出城通		3	1	1	5	2.7%
長橋通	1	7	1		9	4.9%
鶴見橋北通		18			18	9.8%
鶴見橋通	16	15		14	45	24.5%
旭北通	2	3		1	6	3.3%
旭南通	2	2			4	2.2%
梅通	1	4			5	2.7%
梅南通		5			5	2.7%
松通		3			3	1.6%
橘通	1	1			2	1.1%
桜通		4			4	2.2%
汐路通		1			1	0.5%
西皿池		1			1	0.5%
津守東				2	2	1.1%
千本				1	1	0.5%
玉出本				1	1	0.5%
計	37 20.1%	117 63.6%	8 4.3%	22 12.0%	184 100.0%	

出典：『皮革季鑑 昭和43年版』



1964年発行の西成（一部）の住宅地図。赤系統は靴製造・卸売業者、青系統は皮革販売業者、ベージュはその他の業種。

東と南のつながり

旧渡辺村を起点にすると、近代以降の皮革産業の地理的展開は東と南に伸長していったとみえる。では、この二つの方向の展開は無関係だったのだろうか。

そこで、浪速区の皮革販売業者の取扱品目に注目し、皮革の用途を集計した（表３）。『季鑑』に載っている皮革販売業者の「取扱品目」を参照したが、記載内容は用途に関するものや素材に関するもの、取引先の製品、業種などが混在している。そこで筆者が暫定的に用途に関するものを取り出した。「靴用・靴資材」はこの文言が明記されたものである。

「裁断革・裏革・床革・薄物」は、靴の資材としてばかりでなく他の製品にも供されるので、別項目とした。靴用・靴資材に供する皮革を扱っている業者が約４割（38・5％）を占めていることから、大国町界隈の皮革販売業者が靴製造・卸売業者と密接な関係を保っていたとしても不自然ではないだろう。

表３　取扱皮革の用途（浪速区）

用途	軒数	
靴用・靴資材	87	38.5%
裁断革・裏革・床革・薄物	26	11.5%
鞄・手袋・袋物用	40	17.7%
衣料用	21	9.3%
運動用・運動具用	22	9.7%
工業・医療・その他用	30	13.3%
計	226	100.0%

出典：『皮革季鑑 昭和43年版』

革と靴を街の魅力に

大阪メトロ御堂筋線大国町駅からＪＲ大阪環状線今宮駅までは直線で約４２０ｍ。この区間にはいまも多くの皮革卸売業者が軒を連ねている。地元の人は「往年の賑わいはすっかり失われてしまった」と嘆かれるが、それでもその業者の数はこの街の大きな特徴である。大国町は難波から少し南の位置で飲食店もたくさんある。革（素材）と肉（飲食）を結びつけるツアーなどが企画・実施されれば、この街の豊かさを多くの人と分かち合えるのではないだろうか。そんな夢を描きつつ、引き続き街の歴史の魅力を探っていきたい。

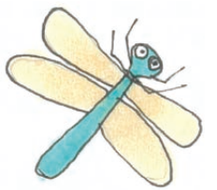
文責：若松司

楽塾 遊び編 9

毎週土曜日開催の楽塾は23年夏に開塾16周年を迎えました。楽塾の理念は〈あそびを学び、まなびを遊ぶ。新しい学校の冒険〉。様々な地域や場で多彩な居場所づくりに汗する人々に、参考にしてもらえればと思いました。これまでに行った〈あそび〉を隔月連載で紹介します。

① 大柳生農場にて（2009年6月）

田植え唄



大柳生田植え縁起

楽塾では毎年6月、「奈良市大柳生町」へ田植えに行き、サツマイモや野菜類なども栽培します。10月は米や芋の収穫月です。開塾2008年以来16年間、毎週土曜日に塾生たちが食する給食は、その年の大柳生での収穫米です。

私たちが農作業を体験する奈良市大柳生町は、奈良市北東部にあり、隣の「柳生町」には、剣豪柳生十兵衛や石舟斎で有名な旧柳生藩邸や道場、石舟斎が切った一刀石、そして柳生一族の墓が並び、「柳生花しょうぶ園」では、初夏に咲く様々な品種の花菖蒲が見られ、花を愛でる人たちの散策場所になっています。

楽塾開塾の前年、大柳生で農産活動する南垣内（みなみがいと）氏に「野外活動で田植え作業」のプランを相談。即決で了解と協力を頂き、以来、楽塾は毎年大柳生町の南垣内氏農地へ田植え作業へ。

奈良市内とはいえほぼ山野の地で人も少なく、農産中心の静かな村です。大柳生の守り神である夜支布山口（やぎゅうやまぐち）神社（トトロの森のような社）への奉納祭や、大柳生そば祭り、音楽イベントなどが毎年実施されています。

給食は大柳生のお米

田植えも機械化し短時間で苗の植え付けや、刈入れ時もコンバインで簡便です。でも私たちは未だ手で植え、手で刈入れのアナログスタイルです。稲の苗をなるべく平均的に植え、苗の不均衡な重なりをなくすため、田の水面に糸を張り苗の位置を確認しあいながら作付けします。私たちは本年6月も大柳生行への準備中です。

初めての田植えは2008年7月で、翌月に我々が作付けしたサツマイモや米の田畑に雑草が大繁茂。鎌や掘削器を用意し、広範囲に茂る雑草を根から刈り取り、それらの草を野焼きするのです。これは火と煙の競演で大スケールでした。

暑さと慣れない作業にも、山から吹く冷風と南垣内さん持参のスイカの甘さが疲労回復となり、その後の大柳生での農作業を続けていく動機にもなりました。そして10月の刈入れ日を「楽塾収穫祭」と決めました。

② 一刀石の前で（2009年6月）

③ 田植え（2009年6月）

④ 稲の刈入れ（2008年10月）

毎週楽塾で食べる大柳生のお米はうまい！それは自分たちの手で植え付けた分身だからです！

えと文：楽塾 佐々木敏明

大柳生へ行きませんか？

本年6月には17年目の「大柳生で田植え」の予定です。よければご一緒しませんか？ 興味ある人たちのご連絡をお待ちしています。下記QRコードから「楽塾ブログ」もご覧ください。

交通案内：大柳生町へは大阪から第二阪奈道路を終点の「宝来」まで走行し、国道369号に合流します。奈良県庁を通過して東大寺前を左折、般若寺交差点で右折して月ヶ瀬街道（同369号）に入ります。峰を横断するヘアピンカーブが連続し、忍辱山円成寺（にんにくざん）を過ぎると下り坂になって、それまで前後左右を山林で覆っていた景色から、私たちの耕作地もある大柳生の田園風景が目前に現れてきます。

● 楽塾田植えに関するお問い合わせ先
にしなり隣保館スマイルゆ～とあい
連絡先：06-6561-8801　担当：安田　　楽塾ブログ→

[笹川勝正] 出会いと別れの季節。今の悩みは約25年乗ってきた自転車を買い替えるかどうか。もうボロボロで修理も難しいといわれたが、愛着があり未練タラタラで別れられない…

[沖田一志] ゆ～とあい2Fからは、もと市民交流センター跡地の工事現場を仮囲いの上から見渡せる。ラブス動画作成を目論んで定期的に同じアングルで写真を撮り続けているので1年後が楽しみ。

[谷口円] 自室にプロジェクターを導入。とってもいいかんじです。夜、ソファに座ってまったり映画、ドラマ、アニメなどを見るのがリフレッシュタイムになりました。文明の利器に感謝。

[田岡秀朋] 小学生の次男には能登半島地震は強烈な体験だったみたい。国内外とわず震災の震度・M・日時まで覚え始めている。一番行きたいところは、あべのタスカル。春休みに連れて行こう。

住之江区の舞昆ホールで GCC K idsの子どもたちによる発表会を開催。年長さんの英語での司会進行で幕が上がり、気づけば、最初から最後までオールイングリッシュ。素晴らしい！ 子ども一人ひとりが自信を持って舞台に立つ姿に大きな感動。とても誇らしく思いました。

大阪市の住民参加型地域組織「地域活動協議会」の活動に橋を架けよう「近ツ橋【ちかつきょう】」

近ツ橋 みんな食堂

長期間の航行では、船員の時間感覚が狂わぬようカレンダー代わりに「毎週金曜日はカレー」とすることがあるそうだ。長橋地域活動協議会では毎月第2土曜日がカレーの日である。

一人暮らしでカレーを作るとたくさん余ってしまい、夕食が何日もカレーになってしまう。なので、いきおい家カレーを食べる機会が減る。長橋地活協では「孤立・孤食」を防止するために、カレーを通じて住民同士のつながりづくりに取り組んでいる。それが「みんな食堂」だ。

みんな食堂は大人が300円・子どもは無料になっている。この取り組みをはじめて5～6年、今では多くの常連さんで賑わっている。友達同士の仲良しグループやみんな食堂で知り合った人たちがテーブルを一緒にして、他愛もない会話をしながら食事を楽しんでいる。

余談だが、筆者も家でカレーは作らないので、みんな食堂でカレーを食べたい欲を満たせている。まだ食べてない方はぜひお試しあれ。

みんな食堂
毎月第2土曜日 12時～13時
にしなり隣保館ゆ～とあい
（西成区出城2の5の9）

[西田吉志]2000年から始まった長橋住宅地区改良事業。ゆ～とあいの南東に位置するそのエリアは、長い間フェンスに囲まれ空き地のままであるが、ようやく数年以内に動きだすようだ。

※本文は関係者各位の許可をとって掲載しています。

おかんのため息

●おかん はぁ…。新年の演奏イベントは楽しかったなぁ。

◆息子 前回につづき季節感ずれてるけど、楽しいのはいいことやな。

● 演奏仲間の若狭くんを連れてきました。

■ 若狭です。よろしく。

◆ はじめまして。おかんがお世話になってます。最近、家で鉄琴を叩いてるのはイベントの練習か？

● そうや。楽器なんか何一つできんかったのに、リーダーが誘ってくれて。最初は鈴とか踊りとかやってんけど、楽器がしたくなって、鉄琴にしてん。

◆ 若狭さんの楽器は？

■ 中学のときはクラリネットでしたが、いまはリコーダーです。

◆ 他にはどんな楽器の方がいるんですか。

■ リーダーがウクレレで、アコギ、エレキ、もう一人のリコーダー。バイオリン、トランペット、キーボード兼ドラム、それと沖縄のバンドBEGINが開発した「一五一会（いちごいちえ）」っていう楽器に、ボーカル、の11名です。

◆ 大所帯ですね。どんな曲を演奏したんですか。

■ まずは《きらきら星》や《小さな世界》のディズニーメドレー。トトロの《さんぽ》や《カントリーロード》のジブリメドレーも。

● 私は《ヤングマン》がすごいよかったな。

■《ヤングマン》はすごい盛り上がりましたよね。

● すっごい盛り上がった。自分ら用の小道具でポンポンを作ってんけど、小さいポンポンも作って会場で配ってん。ほんなら、けっこうみんなノッてくれて。会場に来てた利用者さんが「昔の歌は、歌われへんけども、なんか頭に残ってて知ってるから、ものすごいよかったわぁ」って喜んでくれた。

◆ へぇ。

● キャンディーズも歌ったけど、MCの紹介が失礼やねんで。「昔のお嬢さん三人が歌います」って（笑）

◆ けど「事実」やもんなぁ。

● 前で踊ってたらそこまで見えへんかったけど、録ってくれてた動画を見たら、みんな楽しそうで、「わぁ、やってよかった」って思ってん。なんか思い出に浸ってるわ。なぁ、楽しかったよな。

◆ 何がそんなに楽しいと感じるんかな？

● 知らんけど…。練習も楽しいねん。みんな集まってなんかわからんなりに一生懸命やってる自分がかわいかった（笑）音が外れてたりすんねんけど、恥ずかしいとかなくって。

■ 〝共有する〟っていうことですね。音楽を聴くって一人で完結できるけど、演奏する人がいて聴く人がいるという場があるのが、本来の音楽の楽しみ方っていう気がしたんですよね。

◆ 自然に有志が集まるのもいいよね。

● 家に閉じこもってる利用者さんってけっこう多いけど、そういう人らに「来てくださいよ、私、歌うから、踊るから、鉄琴するから」って声かけてん。結局、来てくれへんかったわ（笑）でも、そういう人が家から出る機会になったらなぁって思うねん。

■ 引っ越しで抜ける方もリモートで練習して本番に来るって言ってるらしいですよ。

● そら、次もがんばらなあかんな。

[安田拓也]〝刺さる言葉〟という表現があるけど、杭のように行動を縛ってしまう言葉もある。時に注射のように腕に出来るだけ添わせて、尚且つ「痛くなかったですか？」のフォローが必要かもしれない。

[福井龍磨]“春風の花を散らすと見る夢は さめても胸のさわぐなりけり”。平安末期の歌人、西行法師が詠んだ歌である。万葉歌から最新のJPOPまで優れた桜の歌は多いが、今は西行の31字が心に染みる。

葉っぱの吐見（といき）

私は草木が大好きです。とくに観葉植物には心癒されます。私と葉っぱとのお喋りを聞いてください。

花麦のこと
観賞用に栽培された大麦の穂のこと。花言葉は「富」「裕福」「希望」「繁栄」

「花麦の葉っぱ」の巻

麦だけど小麦にならない。
パンにうどんにたこ焼き。
悲しいけれど仕方ない。
これがわたしの運命。
麦だけど麦芽にはならない。
ビールにウイスキーに水飴。
悔しいけれど仕方ない。
これもわたしの運命。
麦だけど花屋にならんでいる。
切花に生花にアレンジメント。
忙しい、でも仕方ない。
これだ！ わたしの運命。
麦だけど笑顔にかこまれている。
やる気に元気にプラス思考。
楽しい、でも仕方ない。
これぞ！ わたしの運命。

赤井まゆみ

皮算用 胸算用

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちで皮算用していることを語っていくよ。

自民党派閥の裏金問題に関して、岸田首相も出席した衆院政治倫理審査会が２月29日と３月１日の２日間にわたって開かれた。結局のところ国会での議論は変わらず、派閥の責任にも踏み込まず、岸田首相の出席も政治都合のためであって何の意味もなさなかった。

一方、徹底的に対決すると思っていた野党は結束できずに、与党は思惑どおりに３月２日の衆議院で来年度予算案を通過させた。こんな茶番を見せられて、国民の政治への信頼は回復どころかさらに不信感を高めただけ。参院政倫審も期待できないだろう。

国民は、裏金の実態解明・裏金や脱税を生み出さない政治資金制度の確立・利権政治からの脱却といった政治改革を求めているし、もっと目を向けないといけない課題が山積みだろうと問うている。

（寺本良弘）

いい湯かげん

格差と春闘

今回は賃金の話。その昔、賃金は毎年上がるものだったが、この20年賃金は下がり続ける一方で、賃金格差も深刻だ。そんな中でも法が定める最低賃金はこの10年以上上がり続け、大阪府では時給１０６４円になった。

ところで、最低賃金にしても賃上げの原資となるのは雇主側の労務費。これがほとんど据え置かれたままなので、賃金総体も据え置き状態が続いている。労働者と経営者で取引きされるのが「賃金」で、発注者と受注者で取引きされるのは「労務費」。賃金を決める媒体としては法が認めた労働組合があるが、労務費を決める媒体は極端な場合には独禁法等があるが、通常では法は動かず不平等契約が横行している。

そこで、昨年11月に公正取引委員会が「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」を発表し、発注者側（大企業）に注文をつけた。連合の芳野連合会長はそこに目をつけ、今年の春闘で「労務費引上げ」を労働組合の交渉テーブルにも乗せようと呼びかけた。労務費を販売価格に転嫁できるよう単価引き上げを経営側に求め、「価格転嫁、価格交渉、環境整備」を春闘のスローガンとしたわけである。

この点で思い出すのは、２０１０年当時自治労全国委員長だった西成区役所所属の徳永秀昭さんだ。彼は、正規公務員の賃上げを留保してでも非正規臨時職員等の賃上げを求めようと提案した。当時ではなかなか斬新な提案だった。

自治体の仕事の30％（60万人）は非正規が担っているのに、正規との賃金格差が酷すぎる（年収２００万円以上は２割程度）と捉え、彼はそれを「搾取」と断じた。賃上げの原資は、公務員に対する人事院勧告を留保した分で生じる剰余分を充てるとした。つまり「身を切る改革」提案は維新だけじゃなかったのだ。

この芳野会長の提案を受け、連合の大企業労組がどんな交渉してくれるか期待したい。西成区役所からは現在、木村ひとみさんが自治労副委員長として上京されている。以前は区役所窓口でいつも優しく応対してくれていたあの人だ。機会があれば木村さんに「中央の話」を聴きたいものだ。

さて、区役所労組の上部組織に自治労があるように、部落解放同盟にも大阪府連や中央本部という上部組織があり、いわゆる市場や行政機関にコミットできる道がある。そこで上部組織への提案だ。一つは、大阪府のハートフル条例では入札を活用して就職困難者を雇用しているが、賃金条項はないので追加を求められないだろうか。二つは、最近、福岡県の自治労が水道検針員の労働協約を地域包括的に決められるようにしたが、これを全国化できないだろうか。三つは、ハートフル条例や労働協約には「人権条項」も盛り込めるので活用できないか。

富士フィルムのＣＭコピー「世界は、ひとつずつ変えることができる。」のように、何処の場所からの、何処の人々によるイノベーション（新しい切り口）によって、「格差は、少しずつ縮めることができる」のだと期待したい。

冨田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。

[若松司]文庫本に傍線を引いていて気づいたこと。視野をちょっと広くとって、ペン先のちょっと先を目標に据えたらまっすぐな線が引ける。この心構え、他でも使えそうな気がする。

[山村裕太]ちいかわグッズが好きです。先日、本屋でちいかわの手帳を発見。買おうと手に取りましたが、ちいかわの手帳を使っている35歳の自分を想像すると、キツすぎてやめました。

地域の縁を心でつなぐ

松向寺さんの心の時間

青春時代の頃のことです。恋愛に悩んだ友人が最後に頼ったのは夏目漱石の小説でした。きっと彼は本の登場人物と対話し、自らの進む道を選んだのでしょう。本を読まなかった当時の私には、本を頼りにする彼の行動が理解できませんでした。

それから三〇年、今なら友人の決断が分かるような気がします。恋愛だけでなく、生きている限り生じる悩みはできれば避けたいものですが、私は「悩む時間」が「幸せな時間」に変化しうることを本から教わりました。たとえば音楽家ベートーベンは「苦悩を突き抜けて歓喜にいたれ」と遺していますし、ウィリアム・ジェイムズは「悩み抜いた時、それまでとは異なる人生の意味をつかむこと」を「二度生まれ」と表現しています。

このように、「悩む」ことが「幸せ」になるなどという考えは到底、自分一人で思いつくものではありません。読書は物事の本質を見極める眼を養うトレーニングであり、本から得られる教養は生きてゆく上で大きな力になるのです。

松向寺　通法

写真は人生の一部が映ったもの。ここは思い出や自慢の1枚を少しご紹介するコーナーです。

ワタシの1枚

『ガハハハッ！』

写真当時は３歳だった長女も９歳になり、次女、三女のお姉ちゃんにもなった。長女は僕と妻にとって初めての子育て。色々と学ぶこと、考えることが多くて、正直にいうと少し疲れる時も多々あった。そんな疲れをいつも吹っ飛ばしてくれたのが、娘の笑顔と「ガハハハッ！」という笑い声だった。（編集長 西田吉志）

ゆ〜とあい

にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆ〜とあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか？お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび 4月号（vol.206）
発行日：2024年 4月 1日（創刊日：2007年 1月 1日）
発行：株式会社ナイス
住所：大阪市西成区長橋 3-6-33
電話：06-6563-1150
E-mail:info@nice.ne.jp
url:https://www.nice.ne.jp/

編集長：西田吉志
編集：沖田一志、笹川勝正、田岡秀朋、福井龍磨、安田拓也、山村裕太、若松司（あいうえお順）
イラスト：hidarimaki、西井亜花梨
デザイン：谷口円

（株）ナイス
ホームページ